

【これは速報であり、数値等は今後も変わることがある】

令和元年8月の前線に伴う大雨について

令和元年9月3日(09:30)現在
官邸対策室

1. 気象の概要 (気象庁：9月3日08:00)

(1) 前線の状況

- ・前線と湿った空気の影響で、九州北部地方を中心に8月26日からの総降水量が600ミリを超えたところがあるなど記録的な大雨となった。
- ・特に、8月28日明け方には1時間100ミリ以上の記録的な大雨が相次いで観測されるなど、重大な災害の起こるおそれが著しく高まったことから、28日5時50分に佐賀県、福岡県、長崎県に大雨特別警報を発表した。

- (2) 28日05:50 福岡県、佐賀県、長崎県に大雨特別警報を発表
14:55 大雨特別警報を全て解除

2. 政府の主な対応

8月28日 05:41 官邸対策室設置
05:42 総理指示

- 1 国民に対し、避難や大雨・河川の状況等に関する情報提供を適時的確に行うこと
- 2 地方自治体とも緊密に連携し、浸水が想定される地区の住民の避難が確実に行われるよう、避難支援等の事前対策に万全を期すこと
- 3 被害が発生した場合は、被害状況を迅速に把握するとともに、人命最優先で、政府一体となって災害応急対策に全力で取り組むこと

17:00 関係閣僚会議

8月29日 17:00 関係閣僚会議

8月30日 16:10 関係閣僚会議

8月31日 令和元年8月の前線に伴う大雨に係る政府調査団派遣(佐賀県)

3. 河川氾濫状況等

主な氾濫被害(越水) (国土交通省：9月3日09:00現在)

筑後川水系巨瀬川 左岸8.8km(福岡県久留米市)
六角川水系牛津川 左岸12.25km(佐賀県小城市)
左岸14.4km(佐賀県多久市)
右岸12.6km(佐賀県多久市)
松浦川水系松浦川 右岸31.1km(佐賀県伊万里市)

4. 被害状況（未確認情報を含む）

(1) 人的被害（警察庁：9月3日08:45現在）（消防庁：9月3日09:00現在）

- 死者4名（佐賀県3、福岡県1）
- 重傷1名（佐賀県）
- 軽傷1名（福岡県）

(2) 110番・119番通報状況

- 110番通報 545件（1道1府14県）
- 119番通報 入電多数

(3) 住家被害（消防庁：9月3日09:00現在）

全壊1棟、半壊2棟、一部破損7棟、床上浸水947棟、床下浸水1,379棟

(4) 土砂災害（国土交通省：9月3日08:00現在）

土石流等4件、地すべり5件、崖崩れ75件

(5) 避難状況（消防庁：9月3日09:30現在）

都道府県	避難指示（緊急）		避難勧告		避難所	
	対象世帯数	対象人数	対象世帯数	対象人数	箇所数	避難者数
佐賀県	22,051	55,909	0	0	7	300
長崎県	4	7	0	0	—	—
合計	22,055	55,916	0	0	7	300
(参考最大値) 28日15:00時点	365,164	870,619	418,381	1,004,025	884	5,422

(6) 孤立の状況（消防庁：8月28日15:30現在）

すべて解消

(7) ライフライン等の状況

- 電力関係（経済産業省：9月3日07:00現在）
停電復旧済み ※最大停電戸数 約770戸（8月28日09:55時点（参考値））
- 水道関係（厚生労働省：9月3日07:30現在）
断水復旧済み ※最大断水戸数 2,915戸（参考値）
- ガス関係（経済産業省：9月3日07:00現在）
被害情報なし
- SS（サービスステーション）関係（経済産業省：9月3日07:00現在）
営業停止4箇所（佐賀県内）（28日報告の時点で10箇所の営業停止を確認）
- 通信関係（総務省：9月3日07:30現在）

【固定電話】

- ・被害情報なし

【携帯電話等】

- ・NTTドコモ、KDDI：復旧済み

(8) 交通関係

●鉄道関係（国土交通省 9月3日 06:00 現在）

- ・新幹線：通常運転中
- ・在来線：通常運転中（全て復旧済み）

被害：2事業者3路線で冠水、土砂流入等による被害が発生

●航空関係（国土交通省 9月3日 06:00 現在）

- ・欠航：なし
- ・空港施設：被害なし（福岡、長崎、佐賀空港）

●道路関係（国土交通省 9月3日 07:00 現在）

【高速道】：1路線1区間被災

被災した長崎道武雄JCT付近については、長崎道の上りのみ通行を確保
（長崎道下り及び西九州道上下線ランプについては、緊急車両のみ通行可）

【直轄国道】：復旧済み

【補助国道】：1路線1区間被災

国道385号（佐賀県吉野ヶ里町）土砂崩れ

(9) 河川関係（国土交通省：9月3日 08:00 現在）

●氾濫（越水等）

【国管理河川】

筑後川水系巨瀬川 左岸8.8km（福岡県久留米市）

六角川水系牛津川 左岸12.25km（佐賀県小城市）

左岸14.4km（佐賀県多久市）

右岸12.6km（佐賀県多久市）

松浦川水系松浦川 右岸31.1km（佐賀県伊万里市）

【県管理河川】

14水系45河川で越水等

(10) ダム・ため池・林野・農林水産関係（農林水産省：9月3日 07:30 現在）

- ・ダム：被害情報なし
- ・ため池：福岡県、佐賀県のため池12箇所にて法面崩れ等の被害、下流への影響なし
- ・林野関係：4県で林道の法面・路肩崩壊、林地荒廃等が発生（福岡県、佐賀県、長崎県、大分県）

(11) 文教施設（文部科学省：9月3日 06:00 現在）

- ・5県の学校施設等で土砂崩れ、雨漏り、浸水等による被害が発生

(12) その他被害（大町町の油流出対応）

【油流出の概要】

- ・ 佐賀鉄工所（佐賀県大町町）から危険物（金属加工油）が流出
- ・ 流出油：金属加工油（クエンチ GS70）
- ・ 流出油量：最大 50,000 リットル（地下タンクから流出）

5. 各省庁の活動状況

(1) 気象庁（9月2日 09:00）

- ・ 大雨特別警報発表（福岡県、佐賀県、長崎県）（28日 05:50）
- ・ 記者会見（28日 07:00）
- ・ 大雨特別警報解除（28日 14:55）

(2) 警察庁（9月3日 08:45 現在）

- ・ 官邸へのヘリテレ映像配信（福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島 28日から30日）
- ・ 佐賀県警察女性特別部隊を編成等して、避難所での被災者支援活動を実施（29日～）

(3) 消防庁（9月3日 09:30 現在）

- ・ 佐賀県庁及び佐賀県杵藤（きとう）地区広域市町村圏組合消防本部へ消防庁職員それぞれ2名を派遣
- ・ 福岡市、北九州市及び長崎県の消防防災ヘリにより情報収集（29日）
- ・ 佐賀県内応援隊による救助活動等を実施（453人救助）（29日：10隊34人、30日：8隊28人）
- ・ 緊急消防援助隊（陸上：のべ168隊548人 航空：のべ4隊29人）がヘリによる情報収集、戸別訪問による安否確認（約600戸）、救助活動（11人救助）、油除去作業を実施（28日から31日）
- ・ 石油等の危険物を取り扱う全国の関係事業者に対し、「危険物施設における風水害対策の徹底について」を発出（29日）

(4) 防衛省（9月3日 08:00）

- ・ 災害派遣要請受理（佐賀県知事→西部方面混成団長）（28日 08:04）
- ・ 防衛省統合現地調整所チーム5名佐賀県庁に派遣（28日到着済）
- ・ リエゾン派遣（佐賀県庁、武雄市役所、大町町役場）、油流出対応（油吸着マットの設置等）、廃棄物の集積支援、防疫支援（幹線道路等の消毒）、生活支援（入浴支援、給食支援）、物資輸送、病院支援、人命救助、航空機等による情報収集を実施（28日～）

(5) 海上保安庁（9月3日 05:30）

- ・ 福岡、佐賀、長崎の各県庁へ連絡員（リエゾン）を派遣（28日から2日）
- ・ 佐賀県大町町へ本庁職員及び機動防除隊を派遣（29日から2日）
- ・ 巡視船艇及び航空機による九州北部地方の被害状況調査を実施（28日から3日）

- ・ 航行警報発出（28日08:04、28日08:17）
- ・ 海の安全情報発出（28日05:50、28日08:45、1日17:00）

(6) 国土交通省（9月3日08:00）

- ・ 危機管理監へ意見具申（28日05:37）
- ・ TEC-FORCEの派遣
リエゾン99名、JETT48名、その他1,190名（人数はのべ人数）
- ・ 防災ヘリによる佐賀県・福岡県の被災状況の上空調査実施（28日から3日）
- ・ 大町町の土砂崩れの対応について技術的助言を行うため、国立研究開発法人土木研究所から専門家2名を派遣し、調査結果を町長に説明（9月1日）
- ・ 資材提供（油流出への対応）
オイル吸着マット100,000枚、オイルフェンス900m（提供済み）

(7) 内閣府（9月3日08:06）

- ・ 内閣府情報先遣チーム 佐賀県庁へ向けて出発（8月28日9:20）
- ・ プッシュ型支援の実施状況（とりまとめ）

市	品目	数量	状況	
多久市	仮設トイレ	10 基	8/29 到着	
武雄市	クーラー	30 台	8/30 到着	
	段ボールベッド	300 個	8/31 到着	
大町町	食料	レトルトご飯、カップ麺等	3,658 食	8/29 到着
		精米	510 Kg	9/1 到着
	飲料（500ml）	3,576 本	8/29 到着	
	扇風機	10 台	8/29 到着	
	段ボールベッド	200 個	8/31 到着	
	間仕切り	150 個	8/31 到着	

(8) 総務省（9月3日07:30）

- ・ 公務員部職員2名を情報収集のため佐賀県庁に派遣（28日）
- ・ 大町町からの要請を受け、首長の災害マネジメントを支援するため、総括支援チーム（大分県及び熊本県で構成）を派遣（30日）

(9) 文部科学省（9月3日06:00）

- ・ 佐賀県庁に防災科学技術研究所職員を派遣（28日～）
- ・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）は、陸域観測技術衛星2号「だいち2号」（ALOS-2）による緊急観測を実施（佐賀県武雄市、唐津市、佐賀県東部、福岡県西部）（27日～29日）

- ・佐賀県、福岡県、長崎県教育委員会に対し、児童生徒等の安全確保と文教施設の被害状況の把握、二次災害防止を要請（28日）
- (10) 厚生労働省（9月3日 07:30）
- ・DMATの活動状況（28日から2日）（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県）
- (11) 農林水産省（9月3日 07:30）
- ・福岡県、佐賀県、長崎県内のダム・ため池の緊急点検を指示（28日）
 - ・応急用食料調達に係る関係団体等との連絡体制等を確認（28日）
 - ・食料物資支援のため、内閣府防災へ職員1名を派遣（29日）
 - ・九州農政局から佐賀県庁へ職員4名を派遣（29日）
 - ・九州森林管理局が、佐賀県と合同で佐賀県及び長崎県の一部においてヘリコプター調査を実施（29日）
 - ・内閣府防災により佐賀県内の避難所へのプッシュ型食料支援を実施（29日）
 - ・佐賀県からの要請により、大町町に精米510kgを配送（9月1日）
- (12) 経済産業省（9月3日 07:00）
- ・災害救助法の適用を受け、被災中小企業・小規模事業対策を実施（28日）
 - ・物資（仮設トイレ、扇風機、スポットクーラー、段ボールベッド、間仕切りパーティション等の供給
- (13) 環境省（9月3日 08:00）
- ・廃棄物処理施設の稼働等に影響のある被害は確認されていない（9月3日）
 - ・九州地方環境事務所職員を佐賀県武雄市、多久市、小城市及び大町町に派遣（29日）
 - ・本省及び地方環境事務所（北海道・関東・中部・近畿・九州）とD.Waste-Netの専門家を佐賀県武雄市、大町町、多久市、小城市、江北町、白石町及び福岡県八女市、筑後市へ派遣（30日～）
 - ・大町町油流出への対応として、環境省の要請を受けて、D.Waste-Netの関係団体が収集運搬車両を派遣し、回収作業を実施中（30日～）
 - ・流出油の回収作業等における健康上の留意点等について、専門的観点から助言できるよう、国立環境研究所の専門家を現地に派遣（1日）
- (14) 原子力規制庁（8月28日 06:13）
- ・原子力施設被害なし